

北西線シールドマシン 最後の掘削

■掘削は最後まで気が抜けない!?

トンネルが貫通した際、マシンはそのまま外には顔を出しません。

泥水式シールド工法ではマシン前面のカッターで土を削る時、掘る土が崩落しないよう、前方に高圧力の泥水を送り出し掘削面を抑えながら進むため、そのまま外に出ると泥水が飛び出してしまいます。そのため、北西線の到達立坑では、泥水が飛び出さないような設備が設置されています。



2本のトンネルで設備に違いがあります!

トンネル内からつながっています。この中にマシンが取りまわります!

マシンによる掘削で壁が崩落しないよう支えています!

■青葉行きトンネル(横浜市施工)

マシンはトンネルの中から立坑内まで飛び出した円柱状の設備の先端まで進みます。これによりマシンの後方で行う内壁の組立てが、トンネル出口まで停止することなく行うことができます。

■港北行きトンネル(首都高施工)

マシンは立坑の壁に設置された蓋の前まで掘り進み、一旦停止します。その場で泥水を抜いた後、蓋を解体し、最後の数メートルを内壁の組立てをしながら少しずつ進めます。

■役目を終えたシールドマシン

写真手前が港北行きトンネル、奥が青葉行きトンネルです。

港北行きトンネルは上の記事で紹介した「蓋」が既に解体されており、役目を終えたシールドマシン本体が掘削開始以来初めて外に顔を出し、解体の時を待っています。



◀到達後の立坑の様子

北西線現場見学会を開催しました

7月31日、8月20日、21日に、北西線工事現場の見学会を開催しました。完成前の橋梁の上やトンネルの中を歩いたり、鉄筋の有無によりコンクリート強度が違うことを実際にその上に乗って体験しました。夏休み中の開催だったこともあり、お子様も多く参加され、大盛況となりました。



▲北西線現場見学会(7月31日)



▲夏休み社会科見学ツアー(8月20日)

横浜環状北西線は、東名高速道路と横浜北線および第三京浜道路を結び、延長約7.1kmの自動車専用道路です

平成29年3月に開通した横浜北線と一体となり、東名高速道路と横浜都心・湾岸エリアの連絡強化等を図ります。

北西線は、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して、事業を進めています。



くわしくはHPで

北西線事業の進捗情報などをこの広報紙やホームページ等でお知らせしていきます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/hokuseisenkensetsu/> (横浜市) <http://www.shutoko.jp/ss/hokusei-sen/> (首都高速道路株式会社)

北西線建設課 検索
ほくせいせん 検索

Youtubeで事業概要の動画を視聴できます!
「ほくせいせん」と検索!



QRコード

お問い合せ先
横浜市【道路局 横浜環状北西線建設課】TEL 045-671-3630 / FAX 045-651-3269
〒231-0017 横浜市中区港町2-6(横浜関内ビル5階)

首都高速道路株式会社【神奈川建設局】TEL 070-2153-1759 / FAX 045-439-0772
〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-2-4 オルトヨコハマ・ビジネスセンター3階 (受付時間:平日9:00~17:00)

そして、みどり輝く青葉につづきますー。

ほくせいせん

横浜環状北西線

平成30年
10月発行

Vol.11

シールドトンネル 貫通!!

TOPICS

- シールドトンネル掘削完了特集 / 1・2・3
- 北西線シールドマシン 最後の掘削 / 4
- 北西線現場見学会を開催しました / 4